



2026年4月27日  
東日本旅客鉄道株式会社  
盛岡支社

## 「一関ふるさとの森づくり」の開催について

JR東日本グループでは生物多様性を保全し、持続可能な社会へ貢献するため、自治体等のご協力のもと、その土地本来の主役となる樹種について植樹を行い、自然の力で森を再生させる活動「ふるさとの森づくり」を2004年度から行っています。

昨年からは県内初開催となる一関市を舞台に植樹を行っています。周辺観光を楽しめるコースも設定し、地域の皆さまと連携しながら取り組んでいきます。

### 1. 実施概要

- (1) 日時 2026年5月9日(土) 9:30~12:20(植樹終了予定時間)
- (2) 場所 岩手県一関市摺沢
- (3) 内容 ブナ、クリ、コナラ、アカシデ、ヤマザクラ、ヤマツツジなど17種類の苗木を約3,600本植樹
- (4) 参加者 JR東日本グループ社員や家族など約400名参加(予定)
- (5) ご来賓 一関市 佐藤市長、一関地方森林組合 小山代表理事組合長、  
(公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 林さまなど

※荒天や植樹会場の状況により、植樹活動を中止する場合がございます。

### 2. 植樹終了後の流れ

植樹後には、参加者は岩手県内の各所を訪問し、県内の観光を体験するとともに、県内各地への理解を深めてまいります。

- (訪問箇所) 狢鼻溪・高田松原津波復興祈念公園  
(奇跡の一本松)・基石海岸

※参加者が上記から一か所を選択



2025年開催の様子

### 3. その他

「鉄道沿線からの森づくり」として、自治体と連携した植樹活動に取り組んでいます。盛岡エリアでは2013年から自治体と連携して「宮古市森づくり体験学習会」を実施し、植樹活動を継続しています。